

***周囲の桜**

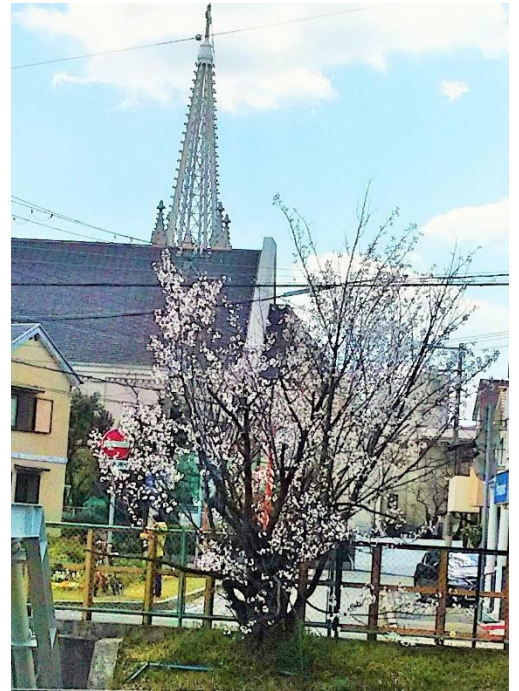
16, 17, 18、でなく41何の数字でしょう。TV, 新聞などでご承知のこととは思いますが、昨日までの3日間の東京での、新たな新型コロナ感染者の数字です。条件つきではあるにしても学校の再開や、美術館や野外施設の開放が報じられ何となく自粛緩和に動きつつあるのかなと思いきやである。昨夜、突然の小池知事の登場、「感染爆発・重大局面」であるとして今週末の外出自粛など要請発表である。ことは、東京だけではなく留まらず、相変わらず新規感染者の発生の止まない、大阪・兵庫地区でも移動の自粛が当面月末まではあるが延長が要請されてきている。ご迷惑かも知れないが、退屈老人のボケ防止にお付き合い願いたい。

・ 附近のヤマザクラ満開！

突然2枚の写真の登場。上の写真は、一昨日夙川公園のサクラの様子見に久し振りに通った、夙川駅への途上。阪急の線路脇で見かけたヤマザクラ、満開でした。昨年までは駅利用の為、週に2, 3度は通っていた道。この樹の右側からはソメイヨシノのが線路両脇に30本ほど植えられている所で、毎年開花を楽しんで来ましたが。一昨年までは、このヤマザクラの開花はソメイヨシノの1週間ほど遅れであったはず。暖冬であった、昨年はほぼ同時開花。今年是如何にと思っていた矢先の早い開花どころか満開でた。

下の写真は、昨日逆方向の芦屋川へ出向いた際、阪急芦屋川駅の100mほど山側に歩いたところからの六甲山山腹の眺め。ここもヤマザクラが既に5, 6本咲いているではないですか。この地点は「たより9」で紹介した近くのビューポイントの一つ、川原に垂れるサクラの枝と背景に六甲の山並みの入る場所。ここも毎年サクラの時期には必ず訪れるところですが、ソメイヨシノの満開の時期でもこのようなヤマザクラの開花を見たことはありませんでした。

今年の12月～2月は記録的と言われる暖冬であったので、ソメイヨシノとヤマザクラの開花が逆転するのではないかと予感がありました。サクラの開花・満開調査に敢えて「ヤマザクラ」も入れて頂いたわけです。皆さまの附近では如何でしょう。



従来、大阪近郊では「ヤマザクラ」の開花は「ソメイヨシノ」のあとが常識でした。しかし、九州南部の鹿児島県や宮崎県ではヤマザクラは3月中旬には開花が見られ、土地の人からもソメイヨシノより早く咲くのは普通と聞きました。また、ご記憶にあるかと思いますが、昨年3月のバス旅行の際にも車中や訪れた天神崎でも既にヤマザクラは開花し、中には満開の樹も見ることが出来ました。この様なことから暖冬となったこの附近でも「ヤマザクラ」の開花逆転があるのでは無いかと考えた次第。この一時も気温の推移から考えたら当たり前の話？植物は正直ですね。

前報では甲山森林公園内の「ヤマザクラ」に関しての多用性に関して報告しました。ここでの様子は今後も見て行きたいと思います。なお、「ヤマザクラ」の多様性については、「このはなさくや図鑑 個性派揃いの山桜」という文献があります。ご興味のおありの方はY A H O Oで検索、一読下さい。六甲山のヤマザクラについての記述です。

・オオシマザクラ&観察木

観察指定樹木ではありませんが、近くにオオシマザクラがありますので見ています。まず芽吹きは葉芽、花芽が同時展開。今年の開花は3月19日と観察木より2日早く開花、現在5分咲き程度です。観察木は21日の開花ですが現在やっと一割程度の開花です。暖かい日が続く割には開花の進行が遅いように思います。なお、花を付けた短枝の先の葉芽の先が緑色に変わってきています。展葉も間近？しばらく目の離せない状況です。

・サトザクラ1号

昨日のウォーキング途上で見かけたサクラ。ピンク、大型でしたので陽光かと思いましたが、八重咲き、サトザクラでした。



*❀だより、

数日前から、夕刊の紙面の片隅にJ R 西日本調べという情報が掲載されるようになりました。近畿圏内の43か所の桜の名所の開花状況が発表されています。25日では5分咲きとの発表は醍醐寺と円山公園です。桜はソメイヨシノとはかぎりませんので、醍醐寺は枝垂桜、山桜、ソメイヨシノ、サトザクラ等多種、円山公園は枝垂桜が有名なのでソメイヨシノの開花ではないと思います。

なお、まだ開花宣言のない神戸では、標準木のある王子動物園は咲き始め、奈良も標準木のある奈良公園も咲き始めとなっています。両地区とも今日、明日の開花宣言になるのではないのでしょうか。



*全国の花見開花状況。

東京、熊谷、前橋、水戸などの関東地域と福井で観測史上最も早い開花日となった反面、大分、宮崎、高知などは平年より遅い開花と南北逆転の現象が見られています。全国的に暖冬であったのでこれまで記述してきたように「休眠打破」の時期が影響したのは明らか。なお、現在関心事となっているのは今年、鹿児島で開花が見られるのか否かということ。花芽の膨れが見られないとのこと。以上